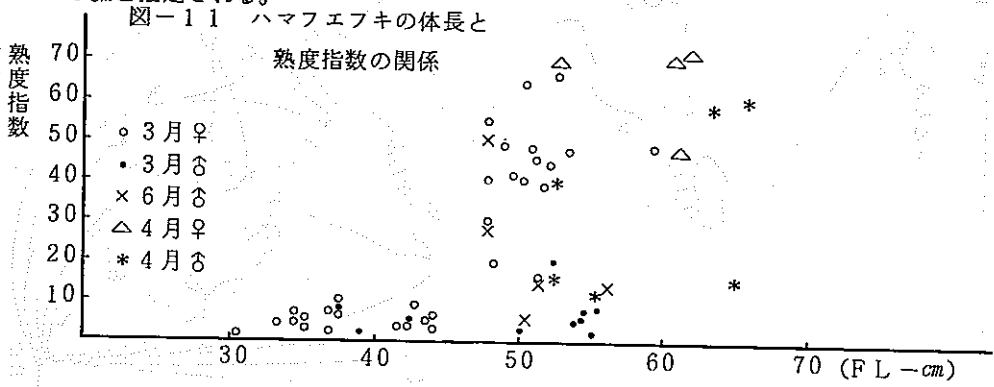


かなり大きくなっている。特に雄の場合、3月と比較すると調査個体の体長に相違はあるがかなり明確な変化がみられている。

これらのことから、体長の大きいものは早く成熟する。3月～4月の産卵期初期には雌は4.8cm以上、雄は5.5cm以上が産卵に加わる。8月の雄の調査個体に体長4.6cmの産卵とみられる未熟個体の出現がみられること、6月の雄に体長4.8cmで熟度指数のかなり大きい個体の出現がみられることから、ハマフエフキの生物学的最小型は、雌4.6cm、雄4.8cmと推定される。



(2) 産卵期の漁獲物の体長組成

沖縄本島および八重山西表海域で一本釣、延縄により漁獲された親魚の体長組成は図-12に示したとおりである。

沖縄本島の親魚の体長モードは40～60cmにあるが、八重山海域の親魚の体長モードは40～55cmにあり、多少小さい傾向がみられる。

また、産卵に加わる個体の生物学的最小型は、♀4.6cm、♂4.8cmと推定したが（八重山地区では多少小型傾向がみられる）このことは親魚の体長モードとはほぼ一致する。

